

重要文化財称念寺本堂保存修理現場 第1回公開要領

- 1 趣 旨
広く一般住民に重要文化財称念寺本堂の修理工事状況を見てもらい、文化財建造物の保存修理について理解を深めていただく。
今回は、保存修理工事用の素屋根（覆屋）が完成したので、その第1回現場見学会として、解体調査工事着手前の状況を見学してもらう。
- 2 主 催 者 奈良県教育委員会 文化財保存事務所
宗教法人 称念寺
- 3 公 開 日 地元向け（今井町民対象）平成25年7月13日（土）10～12時
一般向け 平成25年7月13日（土）13時～15時30分
" 平成25年7月14日（日）10時～15時30分
- 4 見 学 時 間 10時～15時30分
- 5 見学見込人員 1日当たり 500名 2日間合計 1000名
- 6 見学実施方法 一方通行の見学通路各所に職員を配置し、自由見学（説明板を要所に設置するとともに、説明も行う。）
- 7 見 学 場 所 素屋根2階部分より見学
（素屋根東側より入場、南側から退場）
- 8 参 加 費 無料
- 9 参加申込等 当日、現地で受付（住所、氏名、年齢、性別を記入してもらう。）
ただし、小学生以下は、保護者同伴
- 10 連 絡 先 奈良市登大路町30番地 奈良県教育委員会文化財保存事務所
電話 0742-27-9865
- 11 注 意 事 項
 - ・ 駐車場がないため車での来場禁止（近くに有料駐車場はあります）
 - ・ ヒールの高い靴等での入場、禁止
 - ・ 大きな荷物の持ち込み、禁止（受付で預かります。）
 - ・ 写真撮影は、可。ただし、三脚・脚立等を用いての撮影は不可
 - ・ 動画撮影は、禁止
- 12 荒天時対応 当日、午前7時時点で橿原市に風雨に関する気象警報が発令されている場合は、中止
- 13 広 報 報道発表とともに、奈良県のホームページ等に掲載、
今井町内は、回覧により周知
- 14 動 員 体 制 県文化財保存事務所・文化財保存課職員・称念寺関係者
- 15 そ の 他 参加者を対象としたイベント保険に加入
素屋根二階部分及び階段部分には転落防止ネットを設置



①名 称：重要文化財 称念寺本堂

②所 在 地：橿原市今井町

③所 有 者 名：称念寺

④指 定 年 月 日：平成14. 5. 23

⑤説 明

桁行19.9m、梁間21.4m、一重、入母屋造、正面向拝一間、本瓦葺

称念寺は今井寺内町の中核となった真宗寺院で、特に安土桃山から江戸時代初期にかけては、信仰の中心のみならず、寺内町の形成、発展を支える町政全般の拠点であった。現本堂の建立は明らかでないが、随所に真宗本堂初期の手法がみられ、脇の鐘楼と梵鐘が寛永14年の建設であることが知られるので、江戸時代初頭の建立になると判断される。建立が江戸時代初頭に遡る数少ない真宗本堂で、真宗本堂の形成過程を知る上で貴重な遺構である。また、景観上も重伝建地区の核の一つとなる遺構として重要である。

⑥破 損 状 況：

軸部が大きく傾斜しており、突っ張り材で仮補強している状況。屋根は瓦が完全に落ち仮養生中。全体に傷みが著しく進行し倒壊寸前である。

⑦事 業 方 針：解体修理

⑧総 事 業 費：1,575,000千円／H25事業費：100,000千円／H25補助額：5,000千円
 <国指定保存修理>



写真1 素屋根内部状況



写真2 本堂内部状況